

令和3年8月  
関西広域連合議会定例会

報 告 書

令和3年9月10日

関西広域連合議会議員 井 川 龍 二  
同 浪 越 憲 一

# 議 事 日 程

令和3年8月26日(木)

午後1時開議

- 第 1 諸般の報告
- 第 2 会議録署名議員の指名
- 第 3 会期の決定
- 第 4 第9号議案及び第10号議案（広域連合長提案説明）
- 第 5 一般質問
- 第 6 第10号議案（討論・採決）
- 第 7 第9号議案（総務常任委員会付託、閉会中の継続審査に付する件）

第9号議案

令和2年度関西広域連合一般会計歳入歳出決算認定の件

令和2年度関西広域連合一般会計歳入歳出決算は、別冊令和2年度関西広域連合歳入歳出決算書のとおりであるから、地方自治法（昭和22年法律第67号）第292条において準用する同法第233条第3項の規定により、議会の認定に付する。

令和3年8月26日提出

関西広域連合長 仁 坂 吉 伸

第10号議案

令和3年度関西広域連合一般会計補正予算（第1号）の件

令和3年度関西広域連合一般会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ30,880千円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ2,450,885千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和3年8月26日提出

関西広域連合長 仁 坂 吉 伸

第1表 歳入歳出予算補正

歳 入

款	項	補正前の額	補 正 額	計
1 分担金及び負担金		千円 1,356,146	千円 33,292	千円 1,322,854
	1 負 担 金	1,356,146	33,292	1,322,854
6 繰 入 金		33,410	2,414	35,824
	1 基 金 繰 入 金	33,410	2,414	35,824
7 繰 越 金		1	61,758	61,759
	1 繰 越 金	1	61,758	61,759
歳 入 合 計		2,420,005	30,880	2,450,885

歳 出

款	項	補正前の額	補 正 額	計
2 総 務 費		千円 366,908	千円 30,880	千円 397,788
	1 企 画 管 理 費	366,380	30,880	397,260
歳 出 合 計		2,420,005	30,880	2,450,885

## 令和3年8月定例会 質問項目一覧

	府県市	質問者	質問時間	質問項目
1	兵庫県	石井 健一郎 議員 (一括)	10分	1 関西の「関係人口」の創出・拡大について
				2 健康・医療創生会議の取組について
2	兵庫県	北川 泰寿 議員 (一括)	10分	1 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催可否の判断時期等について
				2 コロナ禍における外国人への医療提供体制(多言語支援)のあり方について
3	神戸市	守屋 隆司 議員 (一問一答)	8分	1 新型コロナウイルス感染症への対応について
				(1) ワクチンの戦略的な配分について
				(2) 事業者支援としてワクチンパスポートの研究・実証
4	京都市	中村 三之助 議員 (一問一答)	8分	2 学校給食への地産地消の取り組みのさらなる推進
				1 「双京構想」を掲げ、国土の「双眼構造」の実現へ
5	滋賀県	周防 清二 議員 (一問一答)	16分	2 「ワールドマスターズゲームズ2021関西JAPAN」の来年5月開催について
				1 新型コロナウイルス感染症対策について
6	和歌山県	杉山 俊雄 議員 (一問一答)	16分	(1) 水際対策について
				(2) 医療現場での知見の共有について
				(3) 治療法、治療薬の開発について
				(4) 感染状況の指標見直しについて
				2 公共交通を活かした広域観光について
				(1) 公共交通を活かした広域観光の方針について
7	奈良県	阪口 保 議員 (一括)	12分	(2) コンテンツの発掘とツアー展開について
				1 関西広域連合でのプラゴミ問題の取り組みについて
				2 バイオプラスチックとリサイクルについて
8	徳島県	浪越 憲一 議員 (一括)	12分	3 海洋プラスチックごみについて
				1 太陽光発電に関する諸問題について
				(1) 太陽光発電(メガソーラー)の山林への設置について
9	鳥取県	島谷 龍司 議員 (一問一答)	8分	(2) 太陽光パネル等の廃棄処理について
				(3) 太陽光発電設備の設置に係る法整備の促進について
				1 ワールドマスターズゲームズ2021関西の新型コロナウイルス感染症対策について
10	大阪府	大橋 一功 議員 (一問一答)	10分	2 関西広域連合におけるワクチン接種の取組について
				1 将来における関西圏の水素サプライチェーン構想の実現について
				(1) 「関西水素サプライチェーン構想実現プラットフォーム」の役割と取組について
				(2) 水素の利活用で実現したい「関西の姿」について
11	大阪府	西野 修平 議員 (一問一答)	10分	1 次の10年を見据えた広域連合の方向性
				(1) 地方分権の戦略の練り直しについて
				(2) 関西広域連合の広域計画について
				2 大阪・関西万博に向けた広域連合の取組について
12	大阪市	佐々木 哲夫 議員 (一問一答)	12分	3 ウイズコロナ・アフターコロナを見据えたスポーツ振興について
				1 大阪・関西万博への台湾の参加招請について
				2 公の組織における今後の役員選考について
13	堺市	水ノ上 成彰 議員 (一問一答)	8分	3 新型コロナウイルスに対する国への働きかけについて
				4 自宅療養者に対する医療提供体制の構築について
				1 感染拡大時における医療連携について
13	堺市	水ノ上 成彰 議員 (一問一答)	8分	2 ポストコロナに向けた観光・文化集客戦略について
				3 2050年カーボンニュートラルについて
				1 世界に誇る関西の歴史遺産について
13	堺市	水ノ上 成彰 議員 (一問一答)	8分	(1) 歴史遺産の魅力発信について
				(2) 古墳文化が繋ぐ関西の歴史について

## 本県選出議員の質問概要

浪越 憲一 議員

### 1 ワールドマスターズゲームズ2021関西の新型コロナウイルス感染症対策について

#### (質問要旨)

コロナ禍において、東京2020オリンピック・パラリンピックの日程を進めるにあたり、大会関係者は新型コロナウイルス感染症対策に腐心していると思慮される。

徳島県においても事前キャンプでドイツ、ネパール、ジョージアの選手団が来訪されたが、県及び市町村の担当者の尽力、選手の皆様からの協力により、一人の感染者も出すことなく、パラリンピックを迎えている状況である。

オリンピックとワールドマスターズゲームズでは、参加する方々の形態が異なっており、比較は難しいと思われるが、オリンピックでの新型コロナウイルス感染症対策は、今後、様々な観点から検証されていくと考える。

その点も含め、ワールドマスターズゲームズにおける当初の目標、参加目的を実現するためにも、感染症対策、体制づくりは必須であると考えているが、ワールドマスターズゲームズ2021関西における現時点での取組みについて伺いたい。

#### (答弁要旨)

○広域連合長（仁坂 吉伸）

緊急事態宣言が発令されている中、東京2020オリンピックは「バブル方式」の採用により、大きな感染拡大を防いで無事終了しているとともに、現在行われているパラリンピックにおいても同様の方式を導入し、新型コロナウイルス感染症対策で外部との接触を絶つ取組みが行われている。

一方で、ワールドマスターズゲームズ2021関西は、「参加者同士・参加者と地域との交流や競技参加だけでなく各地で観光も楽しむスポーツツーリズムの実現」を本旨としており、参加選手の隔離等といった強い措置はなじまないと考えている。

そのため、組織委員会では、これまで「新型コロナウイルス感染症対策実施指針」を定め、検温や消毒、マスクの着用、3密の回避など、大会開催において必要な最低限の基本的感染症対策を含めた大会準備を進めてきた。

現在、ワクチン接種が本格化しており、大会開催時には現在の状況よりは改善されていると考えるが、一方で変異株の流行などにより大会開催時の感染状況は予測できない。

こうした状況において、同指針については、来年5月の大会開催に向けて、政府の基本的対処方針などのガイドラインやオリンピック・パラリンピックにおける公式プレイブックなども参考にし、適宜見直しを行うなど、安全で安心な大会の環境を作り出すことが出来るように出来る限りの準備を進めていきたい。

## 本県選出議員の質問概要

浪越 憲一 議員

### 2 関西広域連合におけるワクチン接種の取組みについて

#### (質問要旨)

関西広域連合管内のワクチン接種の現状は資料で確認しているが、関西広域連合としては、ワクチン接種についてどのような状態が望ましいと考えるか、お伺いしたい。

#### (答弁要旨)

○広域医療担当副委員（後藤田 博）

関西広域連合では、「感染拡大を抑制する切り札」として、ワクチン接種に積極的に取り組んでおり、広域連合管内においては、医療従事者に続き、希望する高齢者への接種も概ね完了したところであり、構成府県市の総人口に対する接種率も、8月16日時点で、1回接種が45.8%、2回接種が36.4%と、2回接種を終えた方は全国平均を上回っている状況である。

これまで、広域連合では、通勤や通学等による人の行き来が盛んな関西においては、居住地にとらわれない職域接種が有効であることから、職域接種への積極的な参加を促すメッセージを策定し、運営主体の企業・大学等へアプローチするとともに、ワクチンの迅速な接種に向けた対応等について、「国への緊急提言」を行うなど、職域接種の推進に積極的に取り組んできた。

その結果、多くの企業等から申請を頂くこととなり、一時、使用するモデルナ製ワクチンの供給不足等を理由に承認が停止するという事態もあったが、8月に入り、ワクチンの供給に見通しが立ったことで、管内でも承認が進み、接種が再加速している状況である。

また、広域連合では、構成府県市の取組事例や知見の集約・共有を図ることにより、各府県市におけるワクチン接種の効率的・効果的な実施につなげている。

管内の自治体においては、複数の市町村による共同接種や、接種が完了した市町村の余剰ワクチンの調整、兵庫県と鳥取県の1市6町による「県を越えたワクチン共同接種体制の構築」など、広域連携の取組みが行われているところである。

関西広域連合としても、今後ともこうした取組みを推進していくとともに、ワクチン接種が進んでいない「若年層への周知」を積極的に行うことにより接種を加速し、府県市民の生命と安心を守って参る。